

スコアカードの記録法

- 1) 試合前：スコアカードの表紙にあたる頁に、必要事項の記入を完了させておく。
- 2) トス：コイントスの結果を表紙の頁に記入し、第1セットのサーバーをその正しいエンドに従い、スコアカードに記入する。
- 3) タイム/中断：各セットの開始/終了時刻を記入する。また、試合中に起きた中断事項も必ず正しい項に記入する。
- 4) サーバーのサイド：各サーバーのイニシャル文字を使い、正しい項にそれを記入する。
- 5) ボールチェンジ：正しいボールチェンジをその項にBC等と記入し、明確にしておく。このことで使う記号/マーク等に関しては個人差があってもよい。
- 6) ポイント：ポイントの記入の仕方は、斜線をそれぞれの項に記入することで示す。各ゲーム欄の上側がサーバーのポイントを示し、下側がレシーバーのポイントを示す。
- 7) ゲーム欄上下分割線にある“・”のマークは、第1サービスのフォールトを示す。

“A” → サービスエース（上段にしか記入されない）
 “D” → ダブルフォールト（下段にしか記入されない）
 “C” → コードバイオレーションを与えられたプレイヤーの枠に、与えられる度にCと記入する。

2回目のコードバイオレーションを与えられてポイントを失ったときは、与えられたプレイヤーの枠にCと記入すると同時に、同じ欄の相手プレイヤーの枠に、相手プレイヤーが得点したことを示すため“X”と記入する。

3回目のコードバイオレーションを与えられてゲームを失ったときは、与えられたプレイヤーの枠にCと記入すると同時に、相手プレイヤーの枠に、プレー中のゲームの、ゲーム終了

まで残されているポイントすべてに“X”と記入し、スコアカード右端のゲームスコア欄にゲームスコアを記入する。

ゲーム終了後に3回目のコードバイオレーションを与えられたときは、次のゲームの第1ポイントの欄の、コードバイオレーションを与えられたプレイヤーの枠にCと記入し、その第1ポイントから第4ポイントまでの欄の相手プレイヤーの枠に、続けて4つ“X”と記入し、そのゲームスコア欄にゲームスコアを記入する。

“T” → タイムバイオレーションを与えられたプレイヤーの枠に、与えられる度にTと記入する。

2回目（またはそれ以降）のタイムバイオレーションを与えられてポイントを失ったときは、与えられたプレイヤーの枠にTと記入すると同時に、同じ欄の相手プレイヤーの枠に、相手プレイヤーが得点したことを示すため、“X”と記入する。

(注) C、Tに関して、得点した方のプレイヤーの枠に“X”と記入するのは、プレーした結果の得点を示す“/”と区別するためである。

- 8) ゲーム：各セットの勝者と敗者の取得ゲーム数をポイント記入欄右側のゲーム欄に記入する。
- 9) 罰則事項：コードバイオレーションやタイムバイオレーションの記録をその項に記入する。このとき、事柄の説明を書くときは、事実を正確に端的に記す。

コードバイオレーションでは・・・「ラケットをコートに打ちつけた」
 「審判は口汚くなくのりした」
 など、悪質な行為に対するペナルティのこと。

図A (C、Tのマークは生徒主審のときは郵便紙)

SET No. 3

Tie-break	Server Side	Game	Format	Doubles receivers	Time started	Games	Ball change
	A/B	1	Tie-break Adv. set No Ad Short set		14:15	A/E	
	A	1	/				
	A	2	/				
	A/B	3	/				BC
	A	4	/				
	B	5	/				
	A	6	/				
	B	7	/				
			X				

上の例は第3（最終）セットであるが、第1ゲームにおけるスコアの進行は、次の通りアナウンスされたものである。

「15-Love, 30-Love, 30-15, 40-15, 40-30, Game A, 1st Game」

第2ゲームは次の通りである。

「Love-15, 15-15, 15-30, 30-All, 40-30, Deuce, Advantage B, Deuce, Advantage A, Deuce, Advantage B Game B, One-All」

サーバーの頭文字の位置は、アンパイアから見たサーバーのエンドの方向を指している。この記入法は、特にダブルスにおいて、中断があった場合に便利である。

タイブレークについては、A図左端欄に記入されており、アナウンスは、1-0（ゼロ）A, 2-0 A, 2-1 A, 3-1 A, 4-1 A 5-1 A, 5-2 A, 6-2 A, Game, Set and Match A.... ということになる。

図B ノード方式の記入法

SET No. 1

Tie-break	Server Side	Game	Format	Doubles receivers	Time started	Games
			Tie-break No-Ad		15:07	P/T
	P	1	/	R		1
	T	2	/			1
	P	3	/	L		2

① 図Bの記入法は、第6ポイント終了（最初の太い縦線）までは、図Aと同じである。

② 第1ゲームデュースのあと、第7ポイント目の上段に斜線があるのは、第7ポイント、レシーバーTは右コートでのレシーブを選び、サーバーPが得点して、ゲームはPのものになったことを示している。レシーバーのレシーブコート確認のため、第9ポイントの欄にR（Right→右コートの意味）と記入している。

③ 第3ゲームデュースのあと、第8ポイント目の下段に斜線があるのは、第7ポイント、レシーバーTは左コートでのレシーブを選び、レシーバーTが得点して、ゲームはTのものとなり、ゲームスコアがTリードの2-1となったことを示している。レシーバーのレシーブコート確認のため第9ポイントの欄にL（Left→左コートの意味）と記入している。